



ビジネスのための防犯・安全対策

いつ緊急通報（911）をするの？

以下の状況が生じたら緊急通報（911：警察・救急・消防）する

- 命、財産、または公共の安全が脅かされる時
- 緊急事態発生時
- 医学的または行動上の緊急事態発生時
- 犯罪発生直後、または犯罪が進行しているとき

911に伝えること

- 安全な場所から電話する。電話ができない場合は、テキストメッセージで911に通報する。
- 英語以外の言語を話す場合は、自分の言語または方言を相手に繰り返し伝え、通訳が通話に参加するまで待つ。
- 相手が言うまで電話を切らない。
- 状況を説明する。「I don't know（分かりません）」と言ってもよい。
 - あなたが今いる場所、通りの名前、近くにある会社・ビジネス、またはランドマーク。
 - 容疑者と被害者を描写する。
 - 武器の有無

強盗にあったときの対処法は？

強盗発生時

- 反論や抵抗はしない。みなさんの安全を脅かす可能性があります。
- 迅速かつ完全に協力する。犯罪者は予測不可能であり、武装している可能性があります。
- 犯人の外見、人数、車の有無に注意する。
- 安全が確保されたらすぐに911に通報する。

事件の後

- 警察が来るまで何にも触れない。
- 事件について覚えていること（人、車、その他の詳細）をすべて書き留める。
- DVRやクラウドで録画した証拠映像をすぐに確認し、エクスポートする。従業員にビデオへのアクセス方法を教えておく。
- 近隣ビジネスの安全を確保し、不審な点に気づいたら警察に通報するように近隣ビジネスに呼びかける。

非緊急時の連絡先

CID (チャイナタウン・インターナショナル・ディストリクト) の地域安全リソース

- モニカ・リー (Monica Ly) : シアトル警察 C-ID リエゾン (206-369-0489)
- バーバラ・ビオンド (Barbara Biondo) : シアトル警察西署犯罪防止課 (206-233-0015)

シアトル警察犯罪防止課では、みなさんのビジネスと場所に合った強盗/盗難防止と職場の安全に関する実用的なアイデアを提供する無料のセキュリティアセスメントを行っています。

Barbara.biondo@seattle.gov または 206.233.0015 までお問い合わせください。

ビジネスの安全対策：店外

照明、塗装、カメラなど、外装の改造の多くは、改造前に承認証明書が必要です。シアトル地域局の ISRD コーディネーター (206-684-0226) にお問い合わせください。

通りから店舗への明確な視線を維持する。 視界を遮るものがなければ、通行人やパトロール中の警官が、みなさんの店舗が安全であることを確認できます。

- 店先の窓をふさぐボード、ポスター、ブラインド、木の枝や葉を取り除き、店内外の見通しをよくする。
- 昼夜を問わず道路からよく見えるように、ビジネス名と住所を表示する。正面入口および裏口に緊急連絡先を掲示する。
- シアトル警察の不法侵入警告プログラムに登録し、立ち入り条件のサインをすべての歩行者や車両の入り口に目立つように掲示する。

日頃から店舗をきれいにしメンテナンスすることで、お客さまが入りやすい安全な環境を維持する。

- 落書きは適切な方法で速やかに除去する。
- 破損したドアや窓を修理し、古く色あせたポスターやディスプレイを撤去する。
- 切れている照明や破損した看板を交換する。
- ゴミを拾い、落ち葉をかき集め、店舗周辺の歩道や人が歩くエリアをきれいにする。
- ゴミやリサイクル容器を固定するか、店内または安全な囲いの中に保管する。

不法侵入や破壊行為などの抑止に役立つセキュリティ機能を強化する。

- ドアをこじ開けるために使用される可能性のある隙間をカバーするラッチガード付きのセキュリティグレードの錠を使用する。
- 店舗の窓に侵入を防ぐ防犯フィルムを貼る。
- 営業終了時には、開けられる窓は必ず施錠する。
- シザー式またはプルダウン式の業務用防犯ゲート (中が見えるタイプ) の設置を検討する。
- 階段、搬入口、屋上、ユティリティ室、HVAC へのアクセスなど、監視されていないエリアへのアクセスを制限する (アクセスを制限する前に消防法やユティリティを確認すること)。

駐車場への出入りを管理し、犯罪やその他の迷惑行為を抑止するための監視を行う。

- 駐車場入口に、駐車場の利用者、利用時間、その他の制限について、文化的に適切な方法で分かりやすく説明した看板を設置する。
- 路地の入り口や駐車場など、店舗周辺を頻繁に歩きながら店舗周辺の様子を監視し、問題が生じる前に対処する。
- 営業時間外の駐車場への出入りを制限する。

夜間の犯罪抑止には照明が最も効果的。

- すべての建物の出入り口は十分に明るくし、光が入り口の方に向いていることを確認する。
- 日よけの下や建物周辺、駐車場、裏口、ゴミ置き場、奥まった入り口などに照明を追加する。
- 地上駐車場、地下駐車場を含むすべての駐車場を照らす。外灯の高さや角度が地面に向かっていていることを確認し、光が直接目に入らないようにする。営業終了後も建物内は低レベルの照明を維持し、パトロール中の警官や通りかかるすべての人がみなさんのビジネスが安全であることが分かるようにする。

ビジネスの安全対策：店内

- お客さまに声をかけ、万引き防止の監視をしていることを態度で知らせる。
- 出入り口を限定し、従業員が人の店内への出入りを監視できるようにする。ドアチャイムで人の出入りを知らせる。閉店時や補充時はドアをロックする。
- 会計場所は入り口付近に設置し、外からよく見えるようにする。
- 少額の現金を保管する。夜間はレジを空にする。現金の出し入れができない、または少ないことを示すサインを掲示する。銀行に預けるときは、時間やルートを変える。
- iPadなどの貴重品は、お客さまの手の届かないところに保管する。
- チップ入れ容器はカウンターに固定し、こまめに空ける。
- 店内をくまなく観察できるよう棚を低くしておく。ミラーやカメラで死角をカバーする。
- すべての出口に高さマーカを設置する。
- 高価なものや頻繁に盗まれるものの移動、施錠、数量制限を行う。

防犯カメラ

防犯カメラやCCTVは、照明や入退室管理、きめ細かい接客など、他の防犯・抑止策と併用することで最も効果的である。

- 高画質のビデオ画像は、警察による捜査の助けになる。カメラは、最低でも4MP（1440P）の解像度で、店舗周囲と駐車場をカバーしていることが理想的。カメラがカバーする範囲を確認し、重複が多い場合は、店舗周辺のより広い範囲をカバーする可能性を無駄にしていることになる。
- 店内カメラは、すべての会計場所と売り場をカバーし、特に注意が必要な場所やアルコールなどの高価な商品を陳列している場所を重点的にカバーすることが理想的。
- カメラは見通しの良い場所に設置し、店内に出入りする人の顔を撮影できるような角度で設置する。
- 特に注意が必要な場所に設置するカメラには、破損防止ハウジングの使用を推奨します。

- 監視カメラが撮影する映像をリアルタイムで表示するモニターを設置し、従業員が他の作業をしながら確認できるようにすることを検討する。

チームを整える。従業員は最も重要な資産。従業員とビジネスを守るための対策を講じる。

- 怒った顧客、万引き犯、強盗、店の外での脅威となり得る状況など、工作中に直面し得る状況に安全に対応するための行動計画を作成し、チームを準備・訓練する。
- 警戒を怠らず、犯罪や不審な行動はすぐに 911 に通報する。

人命は物よりも大切であることを忘れないようにしましょう。緊急時の戸締まりや避難の仕方など、重要な情報を全員が知っていることを確認してください。

近隣の人と協力する

- 店舗の近隣に住む人や働く人と知り合いになる。
- 犯罪や安全に関する情報をお互いに共有する。
- お互いに気を配る。自分の住んでいる地域で犯罪や不審な行動を目撃したら通報し、近所の人にも同じように声をかけましょう。